

連画で国際交流

鹿児島県枕崎市立枕崎小学校 益永秀一

1 活動にあたって

小学校も高学年になってくると絵を描く時間というのは、得意な子には大好きな時間だし、苦手な子には苦痛の時間でしかない。そんな指導しかできない自分に「連画絵のリレー」との出会いは衝撃的であった。

絵のリレーは、文字通り、絵をリレーしていくのである。しかしそこには、小学校学習指導要領図画工作科の目標の「表現及び鑑賞の活動を通して、つくりだす喜びを味わうようにするとともに造形的な創造活動の基礎的な能力を育て、豊かな情操を養う。」全てが含まれている。

子供たちは、どの絵にリレーするか一生懸命鑑賞し、決定すると表現活動に没頭する。完成した作品は、相互に鑑賞し、また他の学校の子供たちにも鑑賞され、広がっていく。絵のリレー本体がひとつの生命体のように増殖を繰り返し、大きくなっていく。その成長の様子を子供たちはさらに鑑賞し、感動していく。

まさに図画工作科の目標にピッタリの活動であり、インターネットやデジタル表現があってこそできるダイナミックでグローバルな活動でもある。

2 実際の活動

この素晴らしい活動を本校では、以下のように取り組んだ。

- ① 種絵やその第1世代の絵の鑑賞
- ② 絵のリレーの説明
- ③ リレーする絵の選択（鑑賞）
- ④ リレーした絵に自分の表現を加える（表現）
- ⑤ 友だちの絵の鑑賞
- ⑥ 大判に印刷し、世界中からリレーされた絵の全体像を鑑賞

3 子供たちの感想



いろんな絵があって、どの絵になぐか迷った。

一度にこんなにたくさんの絵を見ることができて、すごいと思った。

絵のいろんな部分をリレーしている人がいて、おもしろいなと思った。

自分の絵に早く誰かがリレーしてくれないかなと思った。

日本の絵と外国の人の絵は、似ているようでちょっと違うのかなと思った。